
悪魔の石

八 - ネット

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

悪魔の石

【Nコード】

N0442H

【作者名】

ハ・ネット

【あらすじ】

山月学園に通う主人公 伊達政宗はどこにでもいる平凡な学生。幼い頃からの親友と日々を過ごし、多少悩みを抱えながらも、平穏な生活を送っていた。しかし、ある出来事をきっかけに、繰り返しの日常が非日常へと変わっていく

第1話・序章（前書き）

もう二つ別のを書いていますが、手詰まりです。お手上げです。思い付くまで書けそうにありません。

と言う事で（と言う事やねん）思い付いたので書いてみました。

では、ごんげん

第1話：序章

季節は夏

青い空にゆっくりと流れる白い大きな雲

これだけ見ると、清々しい気分になる

しかし、太陽がさんさんと容赦なく照りつけていて、清々しい気分が一転して不快になる

その中を、だらだらと歩いている学生服の少年がいた

「あっちー」

うだるような暑さに、少年は思わず呟く

少年の名前は、伊達政宗

かの有名な武將と同姓同である

同姓同名なだけで、伊達政宗とは全く関係がない

身長は156センチで、童顔である

警察官になりたいのだが、身長制限でなれない為、現在身長を伸ばそうと奮闘中である

「よう

相棒」

政宗は肩をぼんと叩かれたので、振り向くと、そこには目が眩む程美しい学生服姿の少年がいた

端正な顔立ちの少年の名前は藤堂高虎

またもや有名な武將と同姓同名である

これまた同姓同名なだけで、藤堂高虎とは何の関係もない

身長は173センチ

少女漫画によく出てくる優しくてかつこよくて、勉強ができて、ス

ポーツ万能のこの少年
そんな男がモテない訳がない
よって朝は一大イベントである

「ああ、おはよう」

高虎の元気のいい挨拶と違ってだるそうに言う政宗

「相変わらずテンション低いな」
苦笑いの高虎

「こんな暑いのにテンション上げれる方がおかしいわ」

そう二人はたわいもない話しをしながら、学園へと向かう

学園へと向かう途中、二人（主に高虎に対して）に女性の多く＋一部の男性からは黄色い悲鳴が、男性の多く＋一部の女性からは嫉妬または憎しみの目で見られるのである
これは二人にとってはごく普通の日常である

二人は門の前につくと、足を止めた。

『私立山月高等学校』

二人は門の脇にかけられた表札をチラリと見て、視線を前方の二棟の校舎に移した。

「はあ〜」

学校行くのめんどくせえ
今から帰るか」

「今から帰る方がめんどくさいだろ
ほら、行くぞ」

高虎はそう言っつて、政宗を引きずりながら、学園の門をくぐっていく
これもまた二人にとっては日常である

下駄箱まで来た二人は運動靴からスリッパへと履きかえる
この下駄箱はロッカー式ではなく、スリッパを棚に入れるだけなので、ラブレターを入れたら凄い事になってしまう

下駄箱でぐずぐずしてる政宗を教室まで引きずっていく高虎

二人が教室に入ると、教室中の目が一齐に二人の方を見る
学園へと向かう途中と同じである

ある者は目がハートマークに、ある者は敵意を剥き出しにしている
しかし、この二人はそれを全く気にしていない
くどいようだが、一般的には日常ではなくても、彼らにとっては日常であり、これが普通なのである

高虎は自分の席に着き、机の中を見て、たくさんの手紙 ラブレターを机にどさつと置いた
今は携帯があるんだから、手紙なんて渡さねえだろと思つた諸君
それは違う
メールより手紙の方が気持ち伝わりやすいし、メルアドを知らない場合だつてあるのである

高虎はたくさんのラブレターを袋に入れるのではなく、一通一通きちんと読んでいって、ちゃんとその相手に会つてお断りするのである
はつきり言つて、めんどくさい事この上ないのだが、それが礼儀で

あると高虎は考えているのである

一方、政宗はラブレターをほとんどと言って良い程貰わない

それは

ブレザー服の少女達は

「おはよう

政ちゃん」

と言ったり、学生服の暑苦しい男達は

「よう、政、相変わらず可愛いな」とからかったりする事から推測できる

そう、政宗は外見上は可愛いので、男女関係なくペット扱いされているのである

これは政宗の悩みであり、不快な事である
まず政宗は可愛いと言われるのが嫌いである
更にペット扱いされるのが不愉快でもある
ペットって愛玩動物だろ

わざわざもてあそばねたい馬鹿がどこにいますと言っ考えたからである

このように二人は多少の悩みを抱えながらも、繰り返しの日常・・・
と言ってもつまらないものではないが・・・を送っていたのである

しかしある出来事をきっかけにその繰り返しの日常が変わっていく
良い変わりようではなく、悪夢へと

第1話・序章（後書き）

これもすぐにお手上げ状態になりそうです（笑）

一つは需要がないので書かなくてもいいのですが、もう一つは少なからずあるんですよ〜。

ですから、頑張らないと

でも、現実世界の方が大変なんですよね

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0442h/>

悪魔の石

2010年10月9日02時00分発行